

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

上田 剛平

対象鳥獣
イノシシ

活動地域
山形県

株式会社野生鳥獣対策連携センター

《香川県第002号認定鳥獣捕獲等事業者》

事業内容

山形県鳥獣管理研究会におけるイノシシの捕獲技術指導

事業の背景

シカ・イノシシの分布拡大最前線である北陸地方や日本海側の東北地方では、これらの鳥獣が長年生息していなかったため、その捕獲技術が地域の中で伝承されてこなかった。そのため、地域の捕獲の担い手に対し、必要な捕獲技術を普及し、分布が拡大しているこれらの鳥獣に対応できる体制を整えることが重要である。

この課題に対応するため、山形県では、県自らが山形県鳥獣管理研究会を主催し、県内の捕獲の担い手の技術向上や組織の育成を行っている。

依頼を受けて実施した内容

依頼を受けて実施した捕獲技術研修は、簡易電気殺処分器の作成実習、くくりわな捕獲技術研修、銃器による捕獲技術研修の3つである。

・簡易電気殺処分器の作成実習

銃器が使用できない現場条件で、わなで捕獲されたイノシシの殺処分を安全・確実に行うため、簡易電気殺処分器の作成方法や、使用上の注意事項などについて指導した。

・くくりわな捕獲技術研修

くくりわなによるイノシシの捕獲技術について座学で研修を行い、くくりわなの作成実習及び設置実習を行った。

・銃器による捕獲技術研修

銃器によるイノシシの捕獲技術について座学で研修を行い、イノシシの捕獲場所を選定するための見切りの技術や、巻き狩りを行う際の射手の配置、勢子の行動について、現地でOJT型の実習を行った。



写真1 くくりわな作成実習



写真2 巻き狩り時の射手の配置を現地指導

事業の成果

研修実施後、くくりわなによるイノシシの捕獲数が増加している。また、銃器による捕獲技術研修についてアンケートを行ったところ、ほとんどの受講者が研修の内容全てについて、「参考になった」と回答した。